

## 施策名【上水道】

章	節	施策		主要施策	事務 事業 コード	事 業 数	事務事業	課	係	管理 方法	備考
5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり	3.快適な生活環境の創出	2.上水道	(1)	水資源の保全							5112-7で実施
			(2)	上水道の整備・管理	5322-1	1	上水道事業	環境政策課	環境保全係	簡易	
					5322-2	2	臼田簡易水道管理事業	臼田支所	経済建設環境係	通常	
					5322-3	3	望月の郷及び富貴の平飲料水供給事業	望月支所	経済建設環境係	通常	

令和 5 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 4 年度実施事業)

事業名	上水道事業			事務事業コード	5322-1
担当	環境部	環境政策課	環境係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠	水道法		
管理方法	簡易		佐久市小規模水道維持管理指導要綱		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	3.快適な生活環境の創出
	施策	2.上水道
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市民が安全で良好な飲料水の供給を受けることにより、平穏な生活を維持することができる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・上水道事業は、市内のほぼ全域を佐久水道企業団が給水しており、一部の地域で小諸市が給水を行っている。また浅麓水道企業団が水道事業者に水を供給する水道用水供給事業を行っている。 ・その他の水道(例えば、専用水道は、寄宿舍・社宅等の自家用水道等で100人を超える居住者に給水するもの又は1日最大給水量が20m <sup>3</sup> を越えるもの)については市に届出が必要であり、専用水道、簡易専用水道、小規模水道に係る届出書類の受付事務を行う。 ・佐久水道企業団及び浅麓水道企業団の分担金等の支払事務を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
コスト	事業費	29,738		29,622		29,012	
	人件費	0.15 人	1,020	0.20 人	1,370	0.20 人	1,370
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,020		1,370		1,370	
	総事業費	30,758		30,992		30,382	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	4,184		4,151		3,500	
	一般財源	26,574		26,841		26,882	
	財源合計	30,758		30,992		30,382	

令和 5 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 4 年度実施事業)

事業名	臼田簡易水道管理事業			事務事業コード	5322-2
担当	総務部	臼田支所	経済建設環境係	事業開始年度	平成 17 年度
担当者	仲沢 真一郎		係長	野沢 進	課等の長 日向 猛
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠	水道法		
管理方法	通常		小規模水道維持管理指導要綱		
実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	<input type="checkbox"/> その他 ( )	

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	3.快適な生活環境の創出
	施策	2.上水道
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市民が安全で安定した水の供給を受け、公衆衛生の向上が図られている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること  ・馬坂・広川原・本久保・赤谷地区の簡易給水施設の管理(定期点検・水質検査・使用料金徴収・修繕工事等)を行う。 ・水質検査は佐久圏域水道水質検査協議会に依頼。 ・簡易給水施設とは、小規模水道の一種で定義として計画給水人口が概ね20人以上49人以下の水道を指し、長野県が定める「小規模水道維持管理指導要綱」に従う必要がある。 ・使用料金は定額制(月額:1,100円)、口座振替で7月、11月、3月に各4ヵ月分を徴収している。(使用料の滞納は無い)	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		
コスト	事業費	4,792		2,617		2,864		
	人件費	常勤職員	0.45 人	3,060	0.35 人	2,398	0.45 人	3,083
		非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計		3,060		2,398		3,083	
総事業費		7,852		5,015		5,947		
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	377		356		328		
	一般財源	7,475		4,659		5,619		
	財源合計	7,852		5,015		5,947		

令和 4 年度 実施内容	・4施設の管理(定期点検・水質検査・修繕工事・使用料金徴収等)を行った。
-----------------	--------------------------------------

活動指標	単位		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
施設の点検回数	会	実績	36	36	
		目標	36	36	36
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
施設の稼働日数	日	実績	365	365	
		目標	365	365	365
	%	達成率	100	100	

### 3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	簡易給水施設の維持管理について、民間による保守点検及び職員の見回り等によりライフラインを維持することができた。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	適正に施設を管理し、安全で安定した水の供給を図り、住民の重要なライフラインを維持していくことは、行政の責任であり関与が必要である。
事業の課題	今後、施設の老朽化に伴う修繕工事が増加すると共に、受益者が高齢化により減少することが予測されることから、コスト削減や受益者負担のあり方を含め、将来的に不安となる課題の検討を進めて行く必要がある。	

### 4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	手法等の見直し	期間・時期	令和	年度	～	令和	年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 施設の老朽化による修繕工事の増加に伴い、各施設の見回りを強化するなど適正に管理するとともに、将来的な課題に対する検討を進め、安全で安定した水の供給を図っていく。						

令和 5 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 4 年度実施事業)

事業名	望月の郷及び富貴の平飲料水供給事業			事務事業コード	5322-3
担当	総務 部	望月支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠	水道法		
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	3.快適な生活環境の創出
	施策	2.上水道
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 安全な飲料水の供給を行うことにより、利用者は安心して水を使うことができ、快適な生活を享受している。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ①望月の郷飲料水供給施設 望月サニーカントリー(株)が所有している施設(ゴルフ場及び分譲別荘)へ飲料水を供給する施設であり、施設の維持管理及び水道料金の徴収を行う。  ②富貴の平飲料水供給施設 富士コンサル(株)が所有している宿泊等の施設及び個人所有の別荘へ飲料水を供給する施設であり、施設の維持管理及び水道料金の徴収を行う。  なお、長野県が定める小規模水道維持管理指導要綱に基づき、施設の管理運営を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
コスト	事業費	5,478		5,478		4,855	
	人件費	0.30 人	2,040	0.30 人	2,055	0.30 人	2,055
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	2,040		2,055		2,055	
	総事業費	7,518		7,533		6,910	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	7,518		7,533		6,910	
	一般財源	0		0		0	
	財源合計	7,518		7,533		6,910	

令和 4 年度 実施内容	①飲料水の供給、施設の修繕、水質検査、水道料金の徴収等の実施 ②水道供給施設改修計画の作成
-----------------	--

活動指標	単位		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
給水事故(破損)に対する修繕件数(未満にする)	回	実績	3	1	
		目標	5	5	5
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
給水事故に対する苦情件数(未満にする)	人	実績	1	0	
		目標	5	5	5
	%	達成率	75	100	

### 3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	達成	緊急修繕が1件発生したが、苦情が出る前に対応が出来た
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	施設は高山地に設置されており、冬季閉鎖で立ち入り禁止区域であることから、第三者が管理運営を行うことは困難な場所でありまた、安全性の確保や安定供給の面からも相応の引き受ける者がいない恐れもあることから市の関与が必要なる。
事業の課題	市道施設が設置から40年以上経過しており、配管や貯水槽ポンプ等の老朽化が進んでいる。別荘地内の水道供給となっているが、利用者が減っている中で利用料収入が年々減少している。	

### 4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	手法等の見直し	期間・時期	令和	年度	～	令和	年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 現状を維持するため、中長期の設備改修計画を策定した中で、令和12年以降は基金内での運用が厳しい状況であり、料金見直しだけでは対応が難しくなっていくことが想定される(特に富貴の平別荘地)利用者が減少していくことが想定されるため、料金見直しについても大幅な見直しをするとともに、今後の利用の継続についても抜本的な検討を開始する。						